

令和4年1月19日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また、予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。並〔発生なし〕は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 ト マ ト	うどんこ病	やや多	1月上旬発生量：やや多(+) 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 発病初期から薬剤防除する。 発病葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。
	オンシツコナジラミ	並	1月上旬発生量： 並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 黄色粘着トラップの設置等で発生を的確に把握し、発生初期から薬剤防除する。 タバココナジラミは、黄化葉巻病を媒介する。黄化葉巻病発病株は抜き取り、適切に処分する。 施設内外の除草等で耕種的防除に努める。
	タバココナジラミ	並	1月上旬発生量： 並〔発生なし〕 気象予報：日照時間並	

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬春キュウリ	うどんこ病	並	1月上旬発生量：並 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病初期から薬剤防除する。 ・ 窒素肥料の多追肥を避ける。
	褐斑病	並	1月上旬発生量： 並 [発生なし] 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除去した被害葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ 発病初期から薬剤防除する。
	べと病	多	1月上旬発生量：多（+） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下方の病葉は摘み取り、施設外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ 発病初期から薬剤防除する。
	菌核病	並	1月上旬発生量： 並 [発生なし] 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病果や発病葉は速やかに施設外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>
キャベツ	菌核病	やや少	1月上旬発生量 冬キャベツ：並 [発生なし] 春キャベツ：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（-） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病株は速やかに抜き取り圃場外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ 薬剤防除は、株元まで薬剤が到達するように、ていねいに行う。 ・ <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬レタス	菌核病	並	1月上旬発生量：並 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病株は速やかに抜き取り、圃場外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ トンネル内が多湿にならないよう、換気に努める。 ・ 菌核病は、令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。
	腐敗病	並	1月上旬発生量： 並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（＋） 降水量並	
イチゴ	うどんこ病	少	1月上旬発生量：少（－） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病初期から薬剤防除する。 ・ 発病葉等は施設外へ持ち出し、適切に処分する。
	アザミウマ類	多	1月上旬発生量：多（＋） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	ハダニ類	少	1月上旬発生量：少（－） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。 ・ 葉裏に薬剤が十分付着するようていねいに散布する。
施設野菜共通	灰色かび病	やや多	1月上旬発生量 冬春トマト：やや多（＋） 冬春キュウリ：並 イチゴ：並 [発生なし] 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内の換気を良くし、湿度をできるだけ下げる。 ・ 発病葉、発病果は施設外へ持ち出し、適切に処分する。 ・ 令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
カーネーション	アザミウマ類	並	12月下旬発生量：並[発生なし] 12月黄色粘着トラップ誘殺数：並 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、圃場周辺に放置しない。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	ハダニ類	やや少	12月下旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
ストック	菌核病	並	12月下旬発生量 施設ストック：並 [発生なし] 露地ストック：並 [発生なし] 気象予報：気温低か並（－） 日照時間並 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 発病株は速やかに抜き取り、圃場外に持ち出し、適切に処分する。 施設栽培では過湿にならないよう注意する。 <u>令和2年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>
野菜・花き共通	コナガ	並	12月下旬発生量 施設ストック：並 露地ストック：やや少（－） 1月上旬発生量 冬キャベツ：並 [発生なし] 春キャベツ：並 [発生なし] 12月フェロモントラップ誘殺数：やや多（＋） 気象予報：気温低か並（－） 降水量並	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見に努め、発生初期に防除する。 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（野菜：1月上旬、花き：12月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
冬春トマト (海匠、長生)	萎凋症	萎凋株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	うどんこ病	発病株率 (%)	1.60	1.36	0.00	
	疫病	発病株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.40	0.08	0.40	
	〃	果実発病度	0.00	0.01	0.00	
	葉かび病	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.00	0.13	0.40	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.00	0.05	0.00	
冬春キュウリ (山武)	うどんこ病	発病葉率 (%)	6.00	12.30	16.80	
	褐斑病	発病葉率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	菌核病	果実発病度	0.00	0.27	0.00	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.80	1.07	0.00	
	〃	果実発病度	0.00	0.47	0.00	
	べと病	発病葉率 (%)	22.60	11.31	1.20	
	オンシツコナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.00	1.80	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率 (%)	0.80	1.50	0.00	
冬キャベツ (海匠)	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.76	6.00	
	黒腐病	発病度	0.60	1.93	0.75	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.70	0.00	
春キャベツ (海匠)	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.28	0.20	
	菌核病	発病株率 (%)	0.00	0.08	0.00	
	黒腐病	発病度	0.00	0.07	0.20	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.94	1.60	
冬レタス (安房、君津)	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.14	0.40	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.29	0.00	
	菌核病	発病株率 (%)	1.60	1.40	0.80	
	腐敗病	発病株率 (%)	0.00	0.56	0.00	
イチゴ (海匠、山武、安房)	べと病	発病株率 (%)	0.00	0.96	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	うどんこ病	発病株率 (%)	0.49	5.04	4.67	
	〃	発病果率 (%)	0.00	0.33	0.20	
	灰色かび病	発病株率 (%)	0.00	0.09	0.00	
	〃	発病果率 (%)	0.00	0.01	0.00	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.76	3.32	1.11	
	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.04	0.00	
カーネーション (安房)	アザミウマ類	成幼虫寄生株率 (%)	1.87	0.26	0.00	
	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	10.18	24.25	12.80	
	萎凋病	発病株率 (%)	0.00	0.48	0.00	
	立枯病	発病株率 (%)	0.00	0.56	0.80	
	アブラムシ類	成幼虫寄生株率 (%)	0.80	0.16	0.00	
	〃	黄色粘着トラップ誘殺数*	0.44	14.63	25.09	
	アザミウマ類	被害株率 (%)	0.00	16.76	4.00	
〃	黄色粘着トラップ誘殺数*	1.78	1.87	2.08		
カーネーション (安房)	ハダニ類	雌成虫寄生株率 (%)	0.00	4.18	0.00	

*黄色粘着トラップ誘殺数：438 cm²の黄色粘着トラップに30日間に誘殺された個体数

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
ストック (安房)	菌核病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.88	0.00	
	菌核病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.32	0.00	
	萎凋病 (施設)	発病株率 (%)	0.00	0.00	0.00	
	萎凋病 (露地)	発病株率 (%)	0.00	0.24	0.00	
	コナガ (施設)	被害株率 (%)	2.00	4.90	0.80	
		幼虫寄生株率 (%)	0.00	1.52	0.00	
	コナガ (露地)	被害株率 (%)	8.80	20.54	5.60	
		幼虫寄生株率 (%)	0.80	4.84	0.80	
	アブラムシ類 (施設)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	0.16	0.00	
	アブラムシ類 (露地)	成幼虫寄生株率 (%)	0.00	8.02	0.00	

トラップ月間誘殺数 (12月)

単位:頭/日

種類	病害虫名	トラップ設置場所	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠、安房	1.0	0.6	0.4	

○気象予報

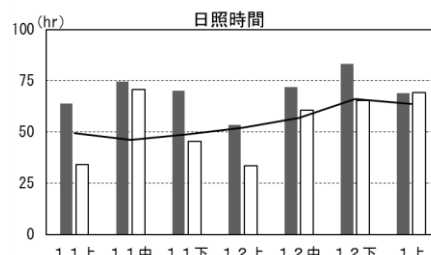
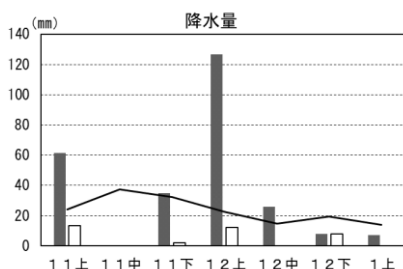
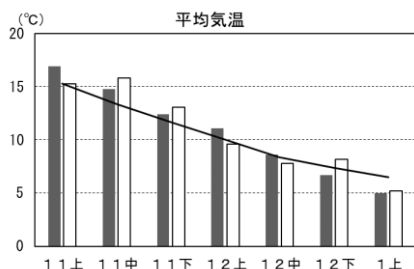
1月13日気象庁発表
関東甲信地方における向こう1か月の確率(%)

要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	40	40	20
降水量	40	30	30
日照時間	30	30	40

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月の各気象要素の平年値
(1月19日～2月15日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	6.0	6.5	6.4
降水量(mm)	62.1	90.2	72.7
日照時間(hr)	170.0	161.5	156.9



■ 本年値 □ 前年値 — 平年値

過去2か月の気象概況(アメダス千葉、銚子地方気象台提供)

農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を散布したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いきれないうきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は3月16日です。なお、注意報等の臨時情報は、逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>



問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp